

## 革新的な水・バイオマス循環システムの構築

目的:

- 地域の自然と社会に応じた水・バイオマス循環システムの構築
- 水とバイオマスに関わる環境保全・管理技術の開発
- 異分野を融合させた新規研究領域の提案

拠点リーダー: 藤原 副拠点リーダー: 市浦

### 都市域

サブリーダー1: 藤原

質と量に配慮した新たな水管理システムの開発・実装  
(藤原・張)

新しい水質浄化材の水管理システムへの適用  
(藤原・市浦)

### 農村地域

サブリーダー2: 佐藤

農村地域の持続的な水管理システムの構築  
(佐藤・齋・張・藤原)

廃棄物から付加価値を創出するカスケード型資源循環  
(市浦・藤原)

### 沿岸地域

サブリーダー3: 足立

マングローブを永续利用するための環・人共生システム  
(足立・池島・市浦・市栄・堀・松岡)

閉鎖性水域における赤潮防除策の構築  
(山口・齋)

### 評価・解析手法

サブリーダー4: 松岡

研究成果を地域へと広域展開する手法の構築  
(松岡・藤原・佐藤・足立・堀)

水・バイオマス循環と地域社会との関わりの評価  
(堀・池島・松岡・藤原・佐藤・足立)

特徴:

- ◇ 各参画者は複数の研究テーマを担当 → プロジェクトを俯瞰した研究の遂行
- ◇ 農学・工学・理学・人文社会学の混成チーム → 新たな学術的成果の創出

自己点検・評価体制

- ✓ 水バイオマス循環システム研究についてのフィロソフィーの共有化(初年度)
- ✓ 全体会議(年2回)とサブグループ会議(年2回)による進捗の点検・改善
- ✓ 各年度の報告書作成時の自己点検評価と次年度へのフィードバック
- ✓ 外部評価者による中間評価(第3年度)